



学校だより

えのき 6月号



皆野町立皆野小学校 令和8年6月1日 発行

運動会で「キャリア教育」

校長 吉田 浩

先日は、大勢の皆様のご協力と子供たちの頑張りで一大会事である運動会が無事実施できました。ありがとうございました。運動会の取組を通して、子供たちも多くのことを学び「成長」できました。では、運動会も含め、学校ではどんなことを学ぶのでしょうか…



皆小魂、笑顔とパワーで国宝級

① 「知識」を学ぶ

学校では国語、算数などの教科を通じて、社会に必要な基礎的な知識やスキルを学びます。これらは社会生活や将来の仕事に役立つ最低限の知識であり、物事を論理的に考える力のもとになります。

② 「人間関係や社会性」を学ぶ

学校は小さな社会であり、友達や先生との関わりを通じて、協力する力やコミュニケーション能力、相手を尊重する感覚を学びます。集団生活の中でのルールやマナー、相手との折り合いのつけ方も重要な学びです。

③ 「自分」について学ぶ

学校では、失敗しても許される環境の中で挑戦する経験を積むことができます。学校生活やグループ活動、学び合いを通じて「自分の特性」や「自分の良さ」を考える力を養います。これにより、自分の価値観や自分に合った目標を見つける練習ができ「挑戦する力」も身につきます。

④ 「基本的な生活習慣や道徳観」を学ぶ

時間を守る、物を大切にする、責任を果たすといった基本的な生活習慣や道徳観も重要な学びです。これらは家庭での学びも重要です。そして、社会に出たときにとっても大切な力となります。

学校は単に「知識習得」だけの場ではなく、社会性、協力、自己理解、倫理観、挑戦する力など、人生を生き抜くための幅広い力を育む場所です。運動会では、②～④の部分の学びができ、子供たちの成長につながっています。この学びは、人との関わりや自分自身を知る経験を通じて、将来の生き方を考える第一歩となります。皆野小では、このような「キャリア教育（子どもたちが自分の可能性を発見し、社会で自立して活躍できる力を養う教育）」も大切にしています。



皆小HPもぜひ
ご覧ください